

# WVA ニュースレター — 2021年9月

## WVA 会長からのメッセージ：パトリシア・ターナー



### 力強い声—団結

親愛なる獣医師の皆さま

9月15日に欧州議会で行われた、獣医師が臨床現場で特定の抗菌剤を使用することを制限するという投票結果については、すでに多くの方がご存じのことと思います。FVEやWVAを含むEU内外の多くの獣医師や獣医師会による熱心な請願、調整、協力の結果、国会議員を説得し、この禁止案は否決されました<sup>\*</sup>。これまで述べてきたように、EU域外の獣医師にとっては「他人事」のように思えたかもしれませんが、

この提案は世界の他の地域で同様の禁止措置がとられる危険な前例となってしまいます。このことは、獣医師が全体として、獣医療の実践に影響を与える可能性のあるグローバルな問題を認識することの重要性と、一人一人が声を上げて行動することの力を示しています。

関連して、SARS CoV-2の世界的流行は、動物、人間、環境の相互関係について、世界中の政府に強い注意を促すものとなりました。WVAは加盟団体を代表して、政府が世界の獣医師の労働力とアニマルヘルスシステムを改善する必要性を忘れていないことを確認するために、Brookeが運営する国際的なアドボカシーグループであるActionforAnimalHealthCoalition (A4AH)に加盟し、政府による世界的なアニマルヘルスシステムの強化を推進しています。A4AHは、10月にイタリアで開催されるG20首脳会議に先立って行われる「G20市民社会サミット」のサイドイベントとして、10月6日に「市民社会サミット」を開催します。このセッションでは、新たな世界的な健康上の脅威に対処するために、グローバルリーダーがワンヘルスアプローチに取り組む必要性を強調します。

WVA評議会と戦略的フォーカスグループは、いくつかのプロジェクトに熱心に取り組んでいます。特筆すべきは、WVAのPharmaceutical Stewardship Strategic Focus GroupとBrookeが、WVAのインターンであり、ユトレヒト大学の最終学年の獣医学生であるMs Lisa Burenの協力を得て、9月に「食用動物の必須医薬品リスト」プロジェクトを立ち上げたことです。世界中の食用動物の獣医学専門家が8つのワーキンググループに分かれて、主要な動物種ごとに中核となる必須医薬品を特定しています。最終的なモデルリストは、各国が世界的な医薬品の入手可能性を確保するために役立つことが期待されています。特に、動物用医薬品へのアクセスができないことで、質の高い動物医療の提供が妨げられている国や地域では、そのような問題が発生する可能性があります。

高品質な医薬品・治療薬の適切な使用とアクセス、医薬品の発注・処方・調剤の適切な監督は、すべてのアニマルヘルス関係者にとって共通の関心事です。このプロジェクトの詳細については、今後数カ月以内に発表される予定です。

会員の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。現在進行中のWVAの活動に関する情報にご興味のある方、その他ご意見のある方は、お気軽にご連絡ください。

敬具

世界獣医師会 会長  
パトリシア・ターナー

<sup>\*</sup>欧州議会で否決された議案は、ドイツの緑の党が提案した「動物に使用できる治療法のリストから一部の抗生物質（ポリミキシン、マクロライド、フルオロキノロン、第3・第4世代のセファロスポリン）を削除する（即ち、上記の4系統の抗生物質の動物への使用は全面禁止）」という議案である。欧州では既に、「欧州議会・理事会規則2019/6」が2019年1月27日に発効、2022年1月28日から適用され、人用抗生物質の動物（家畜・家禽・愛玩動物）への使用は制限されまたは条件が付されることになる。

## WVA, 新しい政策官を迎える

WVAは、新しい政策官、Emma van Rooijenを迎えました。Emmaは、獣医学の学士号と、応用動物行動学及び動物福祉学の修士号を取得しています。Emmaは、国際的な組織のサポートにおいて素晴らしい経験を持っており、International Veterinary Students' Association (IVSA)の会長を務めていました。Emmaは10月1日に着任し、秘書業務に加えて、WVA/FAO/H4A VPPプロジェクトのWVAコーディネーターを務めます。



## 2022年WVA選挙

9月27日、WVAは2022年のWVA選挙のプロセスを開始し、WVA会員にWVA次期会長及び地域・国際評議員の候補者を推薦するよう呼びかけました。

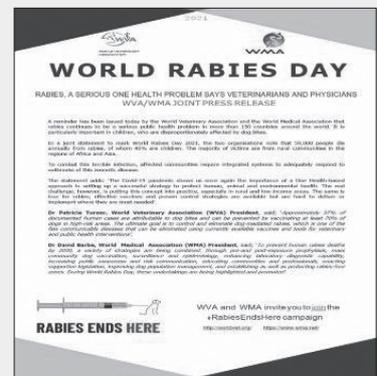
WVAが近年達成した素晴らしい成功を継続するために、WVAは完全にコミットした評議会であればなりません。WVA評議会のメンバーとして活動することは非常に名誉なことですが、WVAのミッションを推進するためには献身的に素晴らしい仕事をする必要があります。

WVAは、その構成メンバーである各協会に対し、それぞれの地域を代表するWVA評議会の最適な候補者を真剣に検討するよう求め、2021年11月29日までにすべてのメンバーからの応募を期待しています。2022年WVA選挙に関するその他の情報については、[secretariat@worldvet.org](mailto:secretariat@worldvet.org)までご連絡ください。



## 2021年世界狂犬病デー

9月28日、世界獣医師会と世界医師会は共同声明を発表し、狂犬病が世界150カ国以上で深刻な公衆衛生上の問題であり続けていることを喚起しました。特に、犬に噛まれたときに被害の出やすい子どもたちにおいては、その重要性が増しています。両団体は、年間59,000人が狂犬病で死亡しており、そのうち40%が子どもであることを指摘しています。被害者の大半は、アフリカやアジアの地域の農村地域の人々です。世界獣医師会(WVA)の会長であるパトリシア・ターナー博士は、次のように述べています。「記録されている人間の症例の約97%は犬に噛まれたことが原因であり、リスクの高い地域の犬のうち少なくとも70%にワクチンを接種することで防ぐことができます。」最終的な目標は、犬を媒介とした狂犬病を制御し、排除することです。現在利用可能なワクチンや獣医学的・公衆衛生的介入のためのツールを用いて排除可能な数少ない伝染病です。共同プレスリリースの全文はWVAのホームページでご確認ください。



## 第37回世界獣医師会総会 — WVA会員の方には登録料の割引特典があります

WVAC2022組織委員会は、世界中から集まったハイレベルな講演者たちによる獣医学のベストプラクティスや獣医学の専門家のための革新的な技術に焦点を当てた、特別な科学的かつ実用的なプログラムを提供するために、多大な努力と情熱を注いでいます。さらに、地元の主催者は、大会参加者に地域の魅力を感じてもらうために、魅力的なソーシャルプログラムを用意しています。この中で第37回WVACの主催者であるEmirates Veterinary Associationのご厚意により、WVA会員の皆さまには登録料を200USドルに値下げさせて

いただくことになりましたので、お知らせいたします。

WVA コングレスに関する詳細情報及び登録は、[www.wvac2022.com](http://www.wvac2022.com) からご覧いただけます。第37回世界獣医師会大会へのご参加を心よりお待ちしております。



WVA は、世界の公益のための獣医師としての役割について、まとまったメッセージを世界に発信するために、皆さまの専門知識と意見を必要としています。WVA の会員及びオブザーバー会員の議論への参加を歓迎します。このプロセスから取り残されないようにしてください。

このニュースレターを貴会会員に伝えてください

ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

**WVA**

Avenue de Tervueren 12, 1040 Brussels, Belgium

ウェブサイト：[www.worldvet.org](http://www.worldvet.org) 電子メール：[secretariat@worldvet.org](mailto:secretariat@worldvet.org)

